

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	2
会計	款	項
一般	3	1 2

事業名	介護保険特別会計繰出金	課名	健康長寿課
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	高齢者がいつまでも元気でいきいきとした生活を続けることができる。
事業内容	配食サービス事業・・・ひとり暮らし高齢者等の家庭に昼食弁当を配達すると共に、安否確認を行う。 介護保険料徴収事業・・・介護保険料の納付書、督促状、催告書の発送。 家族介護支援事業・・・介護に携わる方に一時的に介護の場から離れる機会を作ることで身体的及び精神的負担を軽減する。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1 65歳以上要介護認定率	11.3	11.7	12.4	%	→	12.48
	2 健康寿命の年齢 (男性)	80.8	81.8	81.8	歳	↑	79.9
	3 健康寿命の年齢 (女性)	84.9	83.4	85.2	歳	↑	83.2
	4 地域ボランティアポイント制度登録者数	173	186	205	人	↑	130
	5						
			令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)		
全体事業費 (千円)			288,617	288,828	310,492		
財源 内訳	うち一般財源	283,727	263,719	302,467			

3 事務事業の評価、今後の方針性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方針性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町閑与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。配食サービス等の見直しに加え、要介護認定調査業務への委託について準備が必要である。	③取組の課題	団塊の世代が75歳以上となる2025年問題に加え、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年も見据えた取り組みが必要となる。
②R6年度に実施した取り組み	令和6年度から8年度を計画期間とする高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、事業を推進した。また、令和7年度から要介護認定調査業務について社会福祉協議会に委託する方向で進めた。	④今後の改善計画	高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。配食サービス等の見直しに向けた協議が必要である。